

# ボランティア養成講座

11月3日（金）午前中 20名の方にご参加をいただき、ボランティア養成講座を開催いたしました。講座や体験会を通して、当センターへのご理解をいただき、また、多くの激励をいただきましてありがとうございました。今回は、養成講座の様子を皆様にご紹介いたします。

## 『発達障がいのある子の理解と

### 関わり方のポイント』 児童指導員：里

障がいを持つお子さんは、人にかみついたり、泣きわめいたり、動き回って落ち着かなかったりしてしまうことがあります。大人はどう対応したらよいのか、どうしてこんなことをするのか分からず「困ったな」と思うてしまうことがあります。実は、この子自身が一番困っているのです。お子さんの困り感を軽減するために、事例を交えながら関わり方のポイントを紹介しました。

ちゃんとして！

ちゃんとして？

ちょっと待って！

ちょっとって？

～しないで！

どうしたらいいの？



(養成講座受講風景)

## 『コミュニケーションについて』

### 言語聴覚士：下橋

普段私たちは、主に言葉を使ってコミュニケーションをしています。今回は言葉でのやり取りが難しい障がい児者のことを想像しながら、疑似体験を通してコミュニケーションについて考えてもらいました。



## 『生活介護について』 フレンドホーム：荒木

西部療育センターの2階にあるフレンドホームでの生活介護の概要などを紹介しました。



## 『ハンディーキャップ体験会』

### ○見えない体験



### ○車いす体験



### ○難聴体験



今後も障がい児者への理解が広がり、ボランティア活動に興味を持っていただけると嬉しく思います。